

## 災害時情報連絡体制の市町村調査結果について

### 1 災害情報伝達手段の障害者への配慮状況市町村調査結果

#### (1) 同報系システム

- 同報系システム導入市町村 49/54
  - ・屋外拡声装置における配慮
    - 文字表示板付 0/46
    - パトライト付 3/46[豊橋市、豊明市、田原市]
  - ・屋内戸別受信機における配慮
    - 文字表示板付 3/44[豊田市、新城市、幸田町]
    - 着信表示灯付 8/44[豊川市、豊田市、常滑市、新城市、阿久比町、東浦町、南知多町、幸田町]
- 配布時障害者支援有り 5/44
  - ・障害者手帳の等級により通常の半額で防災ラジオを購入可能：刈谷市
  - ・文字表示型の防災ラジオを一般型と同額で販売：豊田市
  - ・要配慮者名簿登録者に無償配布：南知多町
  - ・障害者がいる世帯へ無償配布：幸田町、東栄町

#### 同報系システムとは

屋外拡声装置（屋外スピーカー）や屋内戸別受信機（防災ラジオ）を介して、市町村役場から住民等に対して直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム。

なお、総務省消防庁の「防災行政無線等の戸別受信機の標準的なモデル等のあり方に関する検討会」（平成 29 年度）が示した屋内戸別受信機の標準モデルには文字表示機能及び着信表示灯機能は不採用。

#### (2) その他の手段

- コミュニティ FM 放送（自動起動対応除く） 25/54
- CATV 放送 48/54
- 緊急速報メール 54/54
- 登録制メール 50/54
- 防災アプリ 8/54
- SNS 27/54
- ホームページ 54/54
- 広報車等 53/54

- ・防災アプリにおける配慮
  - 音声読み上げ機能付 5/8
  - ウェブアクセシビリティへの配慮 2/8
  - ひらがな表示機能付 0/8
  - やさしい日本語表示機能付 0/8
- ・ホームページにおける配慮
  - 音声読み上げ機能付 20/54
  - ウェブアクセシビリティへの配慮 44/54
  - ひらがな表示機能付 9/54
  - やさしい日本語表示機能付 2/54

## (3) 具体的な配慮の取り組み

取組内容	実施市町村
・避難情報等を事前に登録しておいた電話やFAXに知らせる。	【電話・FAX】 岡崎市、尾張旭市、弥富市 みよし市(電話は令和4年度～)、大治町 【電話のみ】 刈谷市、あま市
・自宅の固定電話から災害情報を自動音声で聞くことができるテレフォンサービスの提供	岡崎市
・避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成の中で地域の支援者に平時からの声掛けを依頼	蒲郡市
・防災情報を配信するほか、防災マップ等を確認することができる防災アプリで防災行政無線の放送後に内容を音声で確認できる	尾張旭市
・市内で指定されている風水害避難所・地震災害避難所において、コミュニケーション支援ボード及び防災スカーフを配備	田原市
・海水浴場における津波フラッグの使用	南知多町
・町のホームページ主管課においてウェブアクセシビリティへの配慮についての庁内研修を実施	美浜町

## 2 調査結果を踏まえた災害時情報連絡体制整備に係る今後の取組の方向性

- 市町村の災害情報連絡体制の整備状況から、緊急速報メールで災害に気づき、ホームページで詳細情報を確認する流れが一般的であると考える。
- ホームページにおいて、ウェブアクセシビリティへの配慮のない市町村が10市町村あることから、その導入を促していく。
- また、委員からは、ホームページの中で、災害情報にたどり着くことが難しいとの御意見をいただいたことから、各市町村の災害情報のURLを一覧にして県のホームページに掲載する。
- メールやホームページにアクセスできない方への体制整備としては、1(3)に記載した登録制の電話やFAX、自動音声サービスなどの取組を紹介し、市町村に地域の実情に応じた支援策の検討を促していく。
- こうした方への支援は、1(3)の蒲郡市の取組のように、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成の中で、個別に行っていく手法も考えられることから、市町村の個別避難計画作成を促していく。
- この調査を毎年実施し、市町村の具体的な取組の好事例を収集、還元していく。